



下水道のあゆみ

海外での下水道の歴史は非常に古く、約5000年前の古代インドの都市“モヘンジョ・ダロ”に下水道があったことがわかっています。当時つくられた下水きょはレンガ製で、都市から排出される汚水はこの下水きょを介して最終的に川に流されていました。

日本では、古来よりし尿を農作物の肥料として用いる習慣があり、便所の構造はくみ取り式が主でした。よって、し尿が流出することは少なく、水路や河川などの汚濁も比較的小さなものでした。

しかし、明治時代になると、東京などの都市への人口集中により、大雨による浸水や、汚水の流出などが原因で、伝染病が広がるようになりました。そこで、明治17年(1884)に日本ではじめての下水道“神田下水”が東京で作られました。

熊本市の下水道は、昭和23年(1948) 戦災復興区画整理事業の一環として整備に着手したのが始まりです。それ以来、市域の拡大と共に整備を進めていき、平成31年3月末現在、下水道の人口普及率89.7%に至っています。

熊本市のあゆみ	年(西暦)月	熊本市下水道のあゆみ
市町村制施行、熊本市誕生	明治 22(1889) 4 42(1909) 12	第3代辛島市長、上下水道計画私案を発表
隣接11ヵ町村合併	大正 1(1912) 12 2(1913) 4	上水道・下水道のいずれを先に実施すべきかを市議会に諮問 収入の伴う上水道を先行するを可とするの市議会答申
三大事業記念国産共進会開会 出水村合併	10(1921) 6 13(1924) 14(1925) 3 15(1926) 4	1924(大正13)～1926(大正15) 腸チフス流行により、下水道の必要性の認識高まる
白坪村合併 画図村合併 健軍村合併 清水村合併 川尻町、日吉村、力合村合併 太平洋戦争開戦 終戦	昭和 6(1931) 6 7(1932) 12 11(1936) 10 14(1939) 8 15(1940) 12 16(1941) 12 20(1945) 8 23(1948) 12	戦災復興区画整理事業の一環として下水道事業に着手 ※財政難で、当初計画の20%の進捗率で終了
田迎村、御幸村合併 市内大水害	28(1953) 4 6	白川大水害により下水道整備に対する世論が高まる
池上村、高橋村、城山村合併 秋津村合併 松尾村合併 託麻村一部合併 小島町、龍田村合併	7 29(1954) 10 30(1955) 4 31(1956) 4 32(1957) 1 10	下水道築造15ヵ年計画を策定し、本格的な下水道整備へ 下水道法施行 下水道課新設 下水道使用料徴収開始
中島村合併	33(1958) 4	
第15回国民体育大会熊本で開催	35(1960) 5 9 43(1968) 1	西部污水处理場 (現在の中部浄化センター) 完成
託麻村合併	45(1970) 11	



△熊本市下水道計画図



△当時の下水道工事



△水害の様子



△水害の復旧作業



△昭和30年代の整備の様子



中部浄化センター△

地下水保全都市宣言に関する決議 熊本市地下水保全条例制定	47(1972) 12	秋津下水処理場 (現在の 東部浄化センター) 完成 東部浄化センター	
	48(1973)	熊本市公共下水道基本計画策定	
	51(1976) 3	蓮台寺下水処理場(現在の中部浄化センター) 処理水の農業用水再利用実用化	
	52(1977) 9	アピール下水道 「水前寺、江津湖クリーン作戦」採択 (モデル期間 昭和61年度～平成2年度)	
	60(1985)		
	61(1986)		
	62(1987) 3	川尻下水処理場 (現在の 南部浄化センター) 完成	
市制施行100周年	平成 1(1989) 4	川尻下水処理場(現在の南部浄化センター) にて污泥焼却炉を設置し運転開始	
北部町、河内町、飽田町、天明町合併	2(1990) 5		
	3(1991) 2	中部浄化センター処理水の蓮根栽培用 水利用への実用化試験に着手	
「火の国フェスタ・くまもと'93」が開幕	5(1993) 1		南部浄化センター
環境保全都市宣言 中核市へ移行	10	熊本市下水道施設改築基本計画策定	
	6(1994) 11		
第54回国体「くまもと未来国体」開催 夏季大会9/11～14・秋季大会10/23～28	7(1995) 9	西部浄化センター処理水放流の 関係7漁協と覚書締結	
	8(1996) 4		
平成13年度 高校総体「ひのくに新世紀総体」開催	10(1998) 1		西部浄化センター
	11(1999)	「甦れ江津湖下水道クリーン作戦」が 建設大臣賞「甦る水100選」受賞	
	12(2000) 9		
	13(2001) 8	西部浄化センターが完成し、処理開始 加勢川第6排水区雨水貯留浸透事業実施 ※新世代下水道支援事業 (水環境創造事業 水循環再生型) に採択	
	14(2002) 3	合流式下水道緊急改善計画策定	
2006「世界女性スポーツ会議くまもと」開催 富合町合併	16(2004) 3	地域再生計画認定 “熊本市「水と緑の都」水循環再生計画” 熊本市下水道事業 「中・長期経営計画」の策定 地方公営企業法の一部(財務)適用	
	17(2005) 3		
	6	汚泥処理処分計画見直し(汚泥リサイクル100%の方針打ち出す) 地方公営企業法の全部適用 上下水道局発足 「合流式下水道緊急改善計画(変更)」策定	
	8		
	18(2006) 4		
	5		
城南町、植木町合併 九州新幹線全線開業	20(2008) 10	東日本大震災被災地支援活動 「横手の井芹川旧河川」が熊本水遺産登録 「熊本市上下水道事業経営基本計画」策定	
	11		
熊本市が政令指定都市に移行 国連“生命の水”最優秀賞受賞	21(2009) 4		
	6		
	22(2010) 3	「熊本市下水道総合地震対策計画」策定 中部浄化センター内で消化ガス発電施設運用開始 南部浄化センターで汚泥固形燃料化施設の運用開始 新花畑ポンプ場竣工 下水道使用料算定方法の一部改定	
	23(2011) 3		
	24(2012) 1		
	3		
	4		
平成28年熊本地震発生	25(2013) 3	「熊本市下水道総合地震対策計画」策定 中部浄化センター内で消化ガス発電施設運用開始 南部浄化センターで汚泥固形燃料化施設の運用開始 新花畑ポンプ場竣工 下水道使用料算定方法の一部改定	
	4		
	4		
	26(2014) 3		
	4		
	28(2016) 4	東部浄化センター内で消化ガス発電施設運用開始 「熊本地震におけるマンホールトイレの活用」が国土交通大臣賞 (循環のみち下水道賞) 受賞 「熊本市下水道総合地震対策計画(第1回変更)」策定	
	9		
	29(2017) 3		



甦る水100選



「甦る水100選」受賞記念モニュメント(上江津湖)



甦る水100選

明治33年3月7日に近代下水道制度の基礎である旧下水道法が施行され、平成12年3月で100年になることから「近代下水道制度100年記念行事」の一環として、下水道が水環境の保全回復に果たしている事例のうち特に優れたものについて、表彰し、広く紹介することを目的とした建設大臣賞(当時)「甦る水100選」が創設され、応募した「甦れ江津湖、下水道クリーン作戦」が選ばれ受賞しました。

「甦れ江津湖、下水道クリーン作戦」について

熊本市では、昭和40年代前半から、急速な市街化が進んだことから、江津湖に流れ込む藻器堀川、健軍川等の水質が生活雑排水のため悪くなりました。そのため、江津湖は瀕死の状態になり、水に棲む動植物への影響を多くの市民の皆さんが心配しました。

そこで、市では市民の皆さんと共に「甦れ江津湖、下水道クリーン作戦」を始めました。市民の皆さんと江津湖の美化に取り組むとともに、江津湖に流れ込む川の周辺地域での下水道設備を重点的に行うため、モデル事業として国から補助を受けて、昭和61年～平成2年までの短い間に500ha以上の下水道の整備を行いました。その結果、江津湖に流れ込む川や江津湖の水質が大幅に改善され、藻器堀川では、平成6年よりアユの自然遡上が確認されています。



下水道事業の普及啓発



熊本市の下水道を多くの方に知っていただくために様々な普及啓発活動を行っています。

下水道教室・水循環教室

ご希望される場所(学校、公民館、会議室等)に伺って、下水道についての学習教室を行います。

また、下水道だけでなく水道や地下水を含む水循環の学習も可能です。(協力：(公財)熊本市上下水道サービス公社)

【内 容】

- ① 下水道の話 ② 下水道のDVD
- ③ 下水道の実験 ④ 水道や水の循環に関する話

※費用は無料。年間を通して受付中



浄化センター見学案内

熊本市内の浄化センターの施設を見学し、下水道のしくみを学習できます。また、下水道教室のメニューと組み合わせて見学することもできます。見学をご希望される方は、事前連絡が必要となります。

【見学ができる浄化センター】

- 東部浄化センター ● 中部浄化センター
- 南部浄化センター ● 西部浄化センター

※費用は無料。年間を通して受付中



下水道いろいろコンクール

下水道に関する作品の募集・表彰を行っています。
応募いただいた全作品は、全国のコンクールにも応募します。

【募集部門】

書道の部、標語の部、作文の部、新聞の部、ポスターの部

※ 募集期間：6月～9月上旬

(市政だより8月号等でもお知らせしています)

平成30年度下水道いろいろコンクール特選作品



所属・学年は平成30年度10月時点のもの

9月10日は下水道の日です!

「下水道の日」は、昭和36年に、現在の国土交通省、環境省厚生省及び日本下水道協会が、整備の遅れていた下水道の全国的な普及促進を目的として「全国下水道促進デー」として制定したのが始まりで、その後、より親しみのある「下水道の日」という名称に変わりました。

9月10日に定められたのは、下水道の大きな役割の一つである「浸水の防除」を念頭に、台風シーズンの220日(にひゃくはつか)が適当と定められました。



お問い合わせ先

公益財団法人 熊本市上下水道サービス公社

〒862-0950 熊本市中央区水前寺6丁目2番45号 TEL/ 096-288-7462 FAX/ 096-288-7474

ホームページ <http://wsc.kumamoto.jp/>



Q&A



下水道の使用開始や廃止のお届け



転居などにより使用を開始または廃止される場合には届出が必要です。水道水や井戸水・温泉水などをお使いの方が、下水道に接続して汚水を流し始めたときも、使用開始の届出が必要となります。料金課お客さまセンターへお電話ください。また、廃止のお届けがないと、料金が請求され続けますのでご注意ください。

- お問い合わせ：料金課お客さまセンター(096-381-1118)



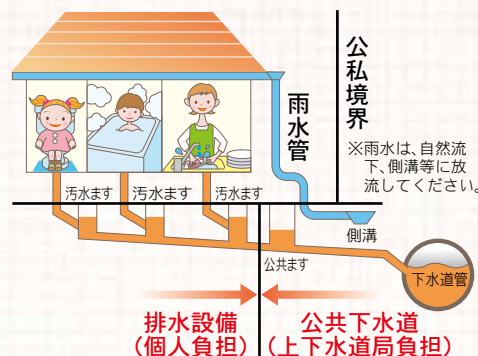
宅地内の排水設備やますが詰まったら？



まずは、どこが詰まっているか(管理区分)を確認してください。

排水設備は、宅地側(排水設備)と道路側(公共下水道)とに分かれています。

- 排水設備に該当する部分が詰まったときは
施工業者かお近くの排水設備業者へ
※費用は個人負担となります
- 公共ますに当たる部分が詰まったときは、
管路維持課下水道維持班(096-381-6333)へ
ご連絡ください。



家の建て替えや道路工事をするので、公共下水道の埋設位置を確認したい。



埋設位置の周辺状況も含めて給排水設備課で「下水道台帳図」を閲覧していただき、確認をお願いしております。

※インターネットを利用した「下水道台帳図」(PDF)の提供も行っています。 [熊本市上下水道局 埋設物](#) [検索](#)

- お問い合わせ：給排水設備課(096-381-1153)



受益者負担金はなぜ土地の面積をもとに計算するの？



受益者負担金は、土地の利用価値の増加に着目して負担を求めようというものです。

この利用価値は下水道整備区域内の土地に一律に生じる利益であることから、土地の面積を基準にすることが公平な負担方法といえます。

- お問い合わせ：給排水設備課(096-381-1153)

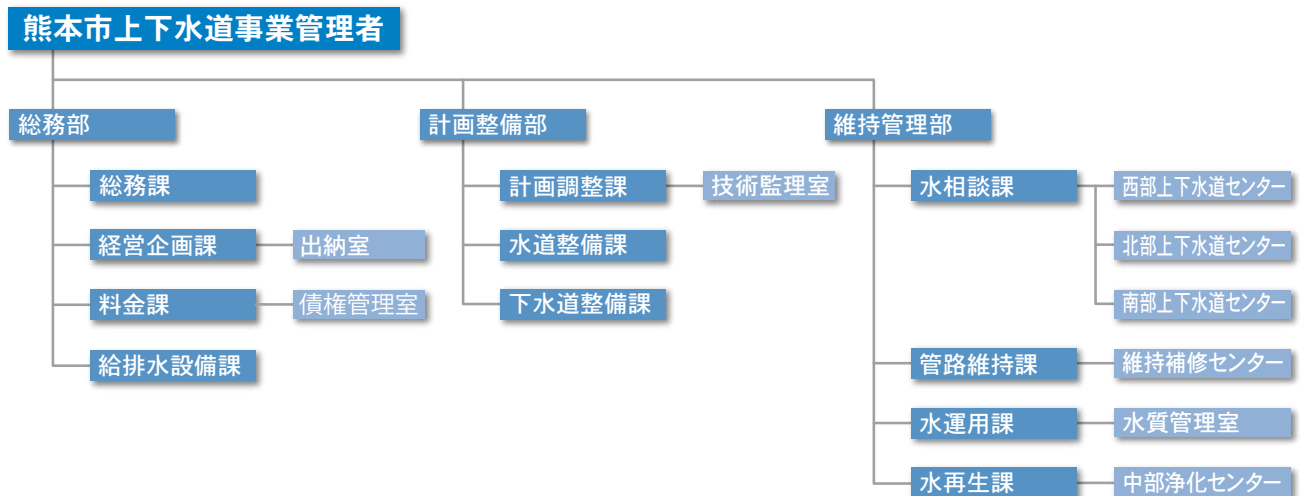


下水道事業に関する組織・お問い合わせ一覧



機構と職制 局機構図

[平成31年4月1日現在]



お問い合わせ先

熊本市上下水道局（代表） TEL 096-381-1133
（時間外） TEL 096-381-0012

営業時間 午前8：30～午後5：15
夜間・土日祝・年末年始

下水道の使用開始・廃止、使用料に関すること

料金課お客さまセンター TEL 096-381-1118

排水設備、受益者負担金、水洗便所改造資金の融資あっ旋及び利子補給に関すること

給排水設備課 排水設備班 TEL 096-381-1153

事業所排水の水質規制に関すること

水再生課 水質指導班 TEL 096-381-1157

下水道事業の実施計画等に関すること

計画調整課 TEL 096-381-3022

下水道管きょ施設及び排水設備に係る苦情、相談等に関すること

水相談課 TEL 096-381-5600

下水道事業の建設工事等に関すること

下水道整備課 TEL 096-381-6103

下水道管きょの維持管理に関すること

管路維持課 下水道維持班 TEL 096-381-6333
管路維持課 維持補修センター TEL 096-353-5366

下水道施設の維持管理に関すること

水再生課 TEL 096-381-6340

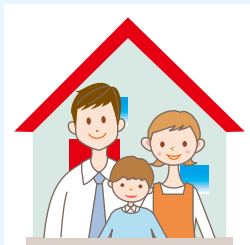
各処理区内の処理場・ポンプ場に関すること

中部浄化センター TEL 096-356-6600
東部浄化センター TEL 096-369-6401
南部浄化センター TEL 096-357-2455
西部浄化センター TEL 096-329-0707
城南町浄化センター TEL 0964-28-6365

※熊本市上下水道局ホームページアドレス www.kumamoto-waterworks.jp/

(平成31年3月31日現在)

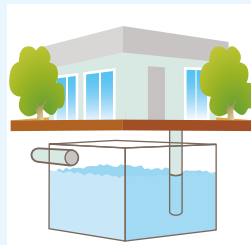
ひと目でわかる下水道メモ



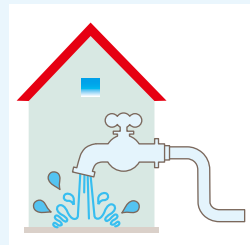
行政区域内人口 731,933 人
下水道処理人口 656,907 人
下水道普及率 89.7%



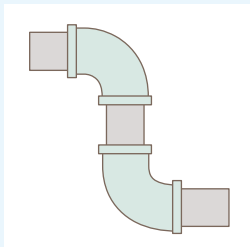
行政区域内面積 39,032ha
全体計画面積 13,724ha
処理区域面積 11,752ha



浄化センター 5 箇所
ポンプ場 39 箇所



年間総処理水量 90,767,183m³
一日平均処理水量 248,677m³



年間有収水量 72,366,941m³
下水道有収率 84.4%



1人1日生活用水使用量 221リットル
水洗化率 97.3%



●収益的収支(税抜)
収益的収入203 億7千万円 収益的支出182億万円
●資本的収支(税込)
資本的収入149 億4千万円 資本的支出224 億5千万円



下水道管渠の布設延長 2,648km



熊本市上下水道局

〒862-8620 熊本市中央区水前寺 6 丁目 2-45

ホームページアドレス

<https://www.kumamoto-waterworks.jp/>

令和元年 11 月発行